

# 多様な発注方式の導入・普及に関する検討

---

**(1) 段階選抜方式の試行**

**(2) 事後審査方式の試行**

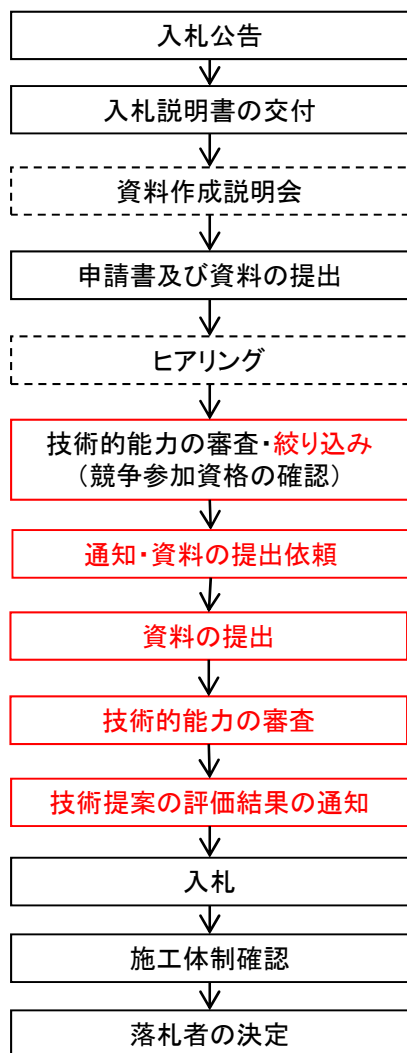
**(3) 地元企業活用審査型総合評価落札方式の試行**

**(4) 特定専門工事審査型総合評価落札方式の試行**

# (1) 段階選抜方式の試行

入札参加者の技術提案の負担の軽減等を図る観点から、総合評価落札方式における段階選抜方式を試行。

## 段階選抜方式を採用したフロー



- ①絞り込みの方法  
評価点〇点以上  
又は  
評価点上位〇者
- ②絞り込みの項目  
企業の施工能力等

## ○平成23年度試行工事の概要(予定)

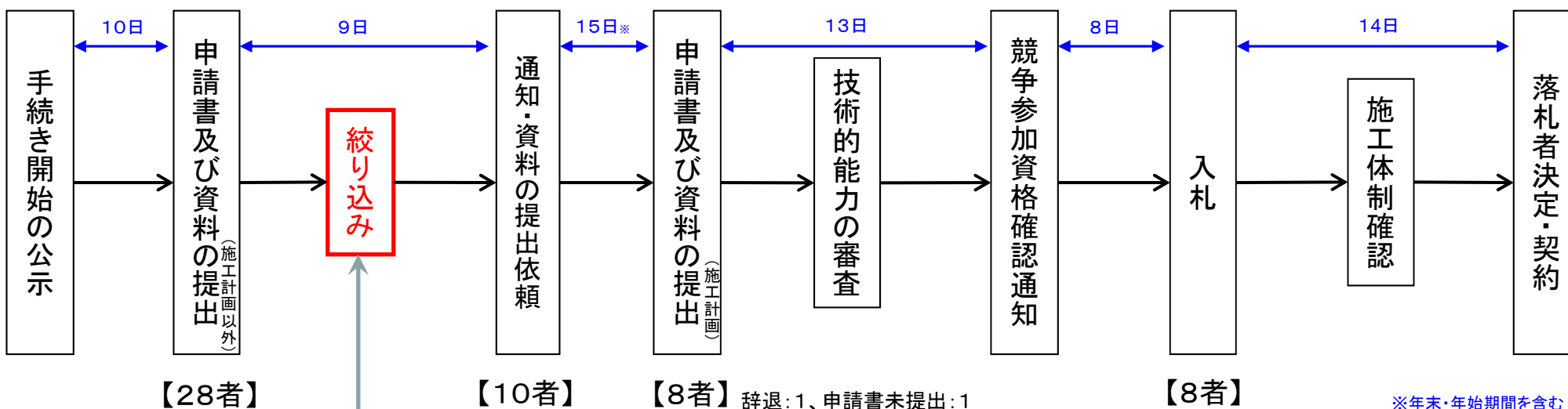
| 地整 | 件数  | 工事の概要       |
|----|-----|-------------|
| 東北 | 検討中 |             |
| 関東 | 5件  | 鋼橋上部、PC外検討中 |
| 中部 | 検討中 |             |
| 近畿 | 1件  | 一般土木        |
| 中国 | 2件  | 鋼橋上部        |
| 四国 | 2件  | 一般土木、鋼橋上部   |
| 九州 | 2件  | 一般土木、PC     |

# 【参考】段階選抜方式の試行事例①

## ○工事概要

|        |             |      |      |     |          |      |          |
|--------|-------------|------|------|-----|----------|------|----------|
| 工事名    | 矢切函渠その8工事   |      |      |     | 地整       | 関東地整 |          |
| 工種     | 一般土木        | 総合評価 | 標準Ⅱ型 | 公示日 | H22.12.3 | 契約日  | H23.2.10 |
| 主な工事内容 | 函渠工事(L=90m) |      |      |     |          |      |          |

## ○手続きの流れ



### ①絞り込みの方法

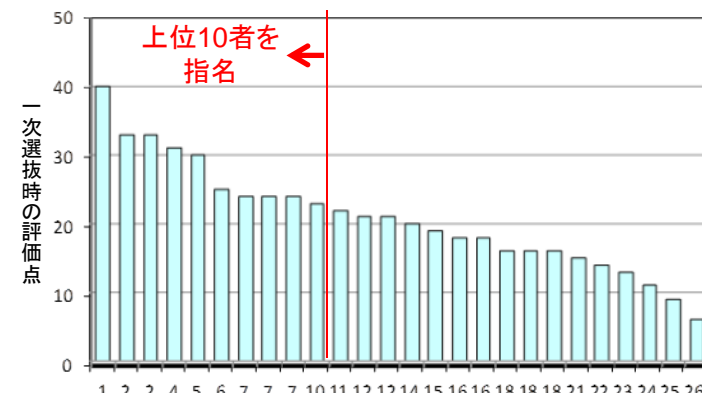
下記「絞り込みの項目」の評価点の合計値が、上位10者までに含まれる者を一次選定。

※1 他の競争参加資格を充たす参加者が10社に満たない場合は全社を選定

※2 10者目の評価点と同点の者が複数いる場合は、その全ての者を含む

### ②絞り込みの項目(合計75点)

「企業の技術力(施工計画を除く)」(65点)及び「企業の信頼性社会性」(10点)



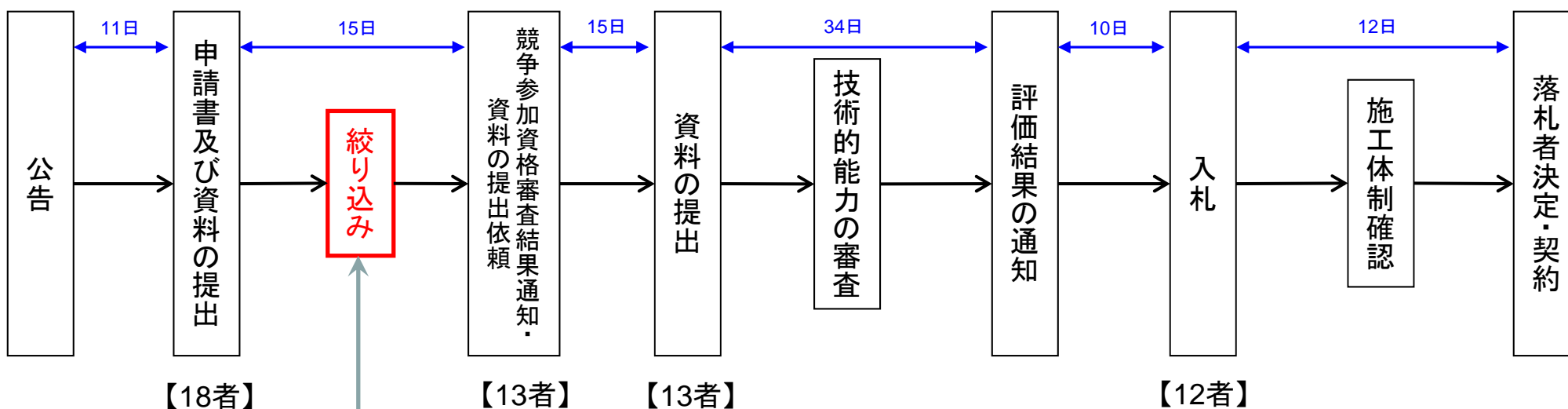
※資格要件を満たさない者: 2者

# 【参考】段階選抜方式の試行事例②

## ○工事概要

|        |   |      |        |     |          |     |         |
|--------|---|------|--------|-----|----------|-----|---------|
| 工事名    | 平成22-24年度 新仁淀川大橋上部第2工事                    |      |        |     |          | 地整  | 四国地整    |
| 工種     | 鋼橋上部                                      | 総合評価 | 標準 I 型 | 公告日 | H22.11.4 | 契約日 | H23.2.9 |
| 主な工事内容 | 工事延長 L=100m、橋長L=99.05m、上部工形式 鋼4径間連続鋼床版箱桁橋 |      |        |     |          |     |         |

## ○手続きの流れ

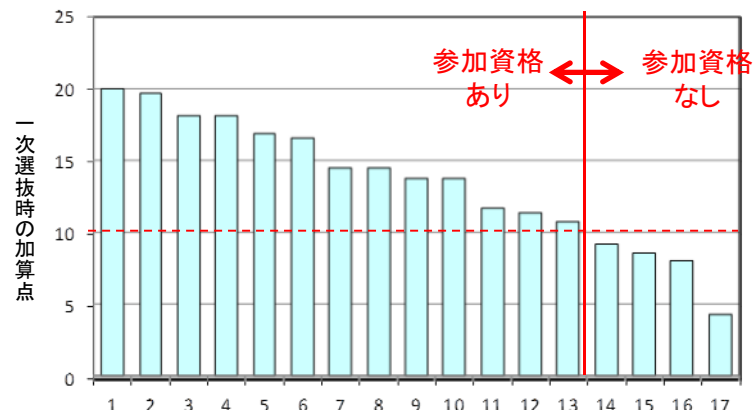


### ①絞り込みの方法

技術提案以外の企業評価及び技術者評価項目の加算点満点(20点)の50%以上

### ②絞り込みの項目(合計105点)

※最も高い評価点を得た企業に20点を与え、その他に企業については按分  
 企業評価(工事成績、工事に係る表彰、近隣地域での施工実績、地域貢献に係る表彰等及び鋼橋等製作工場の体制)(60点)  
 技術者評価(CPD、同種類似の施工実績、工事成績及び優良技術者表彰)(45点)

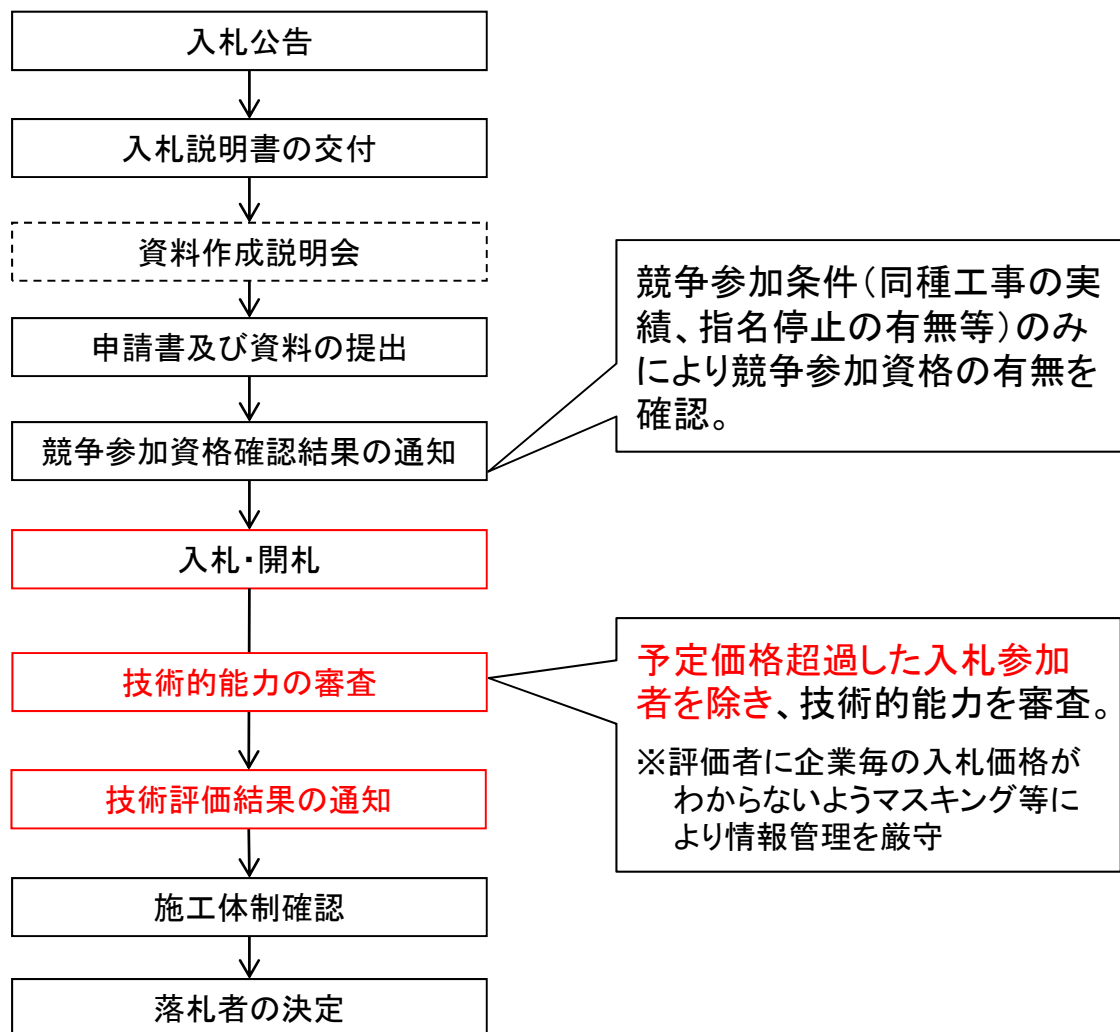


※資格要件を満たさない者:1者

# (2)事後審査方式の試行

技術審査・評価に係る事務量の軽減を図る観点から、総合評価落札方式における事後審査方式を試行。

## 事後審査方式を採用したフロー



## ○平成23年度試行工事の概要(予定)

| 地整 | 件数 | 工事の概要           |
|----|----|-----------------|
| 北陸 | 7件 | 一般土木<br>鋼橋上部、PC |

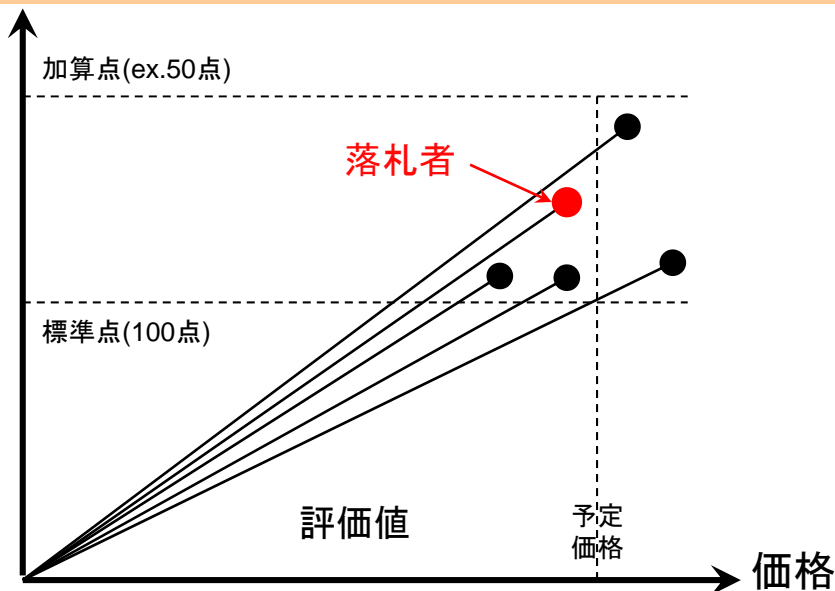
総合評価落札方式の技術評価において、元請企業だけでなく、下請企業や資材会社における地域への貢献度(災害対応への積極的参加等)等を適切に評価する「地元企業活用審査型総合評価落札方式」を試行。  
平成23年度は、約60件で試行を予定。

## 【総合評価落札方式の仕組み】

予定価格の範囲内で、評価値が最も高い者を落札者とする方式のこと。

$$\text{評価値} = \frac{\text{技術評価点}}{\text{入札価格}}$$

(下図のように、「傾き」を示す。)



## 【地元企業活用審査型の技術評価項目】

### 技術評価項目

- 技術提案
- 工事の施工能力

### 地域精通度・貢献度

- 地域精通度(近隣地域での施工実績等)
- 地域貢献度(災害協定の締結・活動実績等)

地元調整が多く必要な工事における地元事情に精通している地元企業の下請業者等としての活用の度合い

- ・下請企業の近隣地域での施工実績
- ・下請企業の社会的貢献に係る表彰
- ・地元(優良)資材会社の活用の度合い等

# (4) 特定専門工事審査型総合評価落札方式の試行

○専門工事業の技術力が工事全体の品質確保に大きな影響を及ぼすと思われる工事において、入札参加者に加えて、**入札参加者が受注者となった場合に想定される専門工事業者の技術力も評価**する総合評価落札方式を試行。

平成23年度は、約10件で試行を予定。

## 【対象工事】

・**法面処理工、杭基礎工、地盤改良工又は海上工事**(海上工事については、いずれかの工種に限る)のいずれかを含む**専門工事(特定専門工事)**が、工事全体に占める重要度が高い工事

## 【評価項目】

・評価項目は、**特定専門工事部分とそれ以外とに分けて設定**

➤技術評価点(加算点)の配点割合(イメージ)  
(標準I型)

| 加算点(70点)          |                                    | 施工体制審査点<br>(30点) |
|-------------------|------------------------------------|------------------|
| 技術提案<br>(50点)     | 施工能力等<br>(20点)                     |                  |
| 特定専門工事に<br>係る技術提案 | 特定専門工事業者<br>・施工実績<br>・配置予定技術者<br>等 |                  |

加算点全体の50%未満

## 【配点割合】

・特定専門工事部分に係る加算点の割合は、施工体制評価点を除く**加算点全体の50%未満となる範囲**で、工事全体に占める特定専門工事部分の重要度に応じて適切に設定

## 【審査・評価方法の留意点】

・**特定専門工事部分についての技術提案を求める**  
 ・原則として、入札参加者(元請)及び**特定専門工事業者**双方の配置予定技術者より**ヒアリングを実施**  
 ※特定専門工事業者のヒアリングへの同席は、任意の協力によるものとする

## 【その他】

・特定専門工事業者の選定や特定専門工事部分の施工等について、**落札者(元請)の責任において行われるもの**  
 ・やむを得ない場合を除き、特定専門工事業者の変更を認めるものではない